

国語総合（A日程、二月十五日）

出題意図

（１）設問数は大問題を四問（大問一～四）。さらに大問一、二、四では小問題を十問、大問三では小問題を五問としている。

（２）内容は、大問一、二、四が文章（小説や詩を除く現代文）読解（漢字の読み・書き取り五問を含む）、大問三が語彙・語法問題である。漢字の出題に当たっては、漢字検定三級から準二級程度を目安に、難易度を設定している。

（３）基本配点は、大問一、二、四では、漢字の読み・書き取り五問が各二点、他の五問が各四点で、合計三十点。大問三では、選択式五問が各二点で、合計十点。大問全四問を合わせて、百点満点である。

（４）文章読解のうち大問四では、比較的長文で難易度が高めの問題を出題しており、文章を読み取って文章で解答する記述式問題を一間以上出題している。同様の記述式問題は、大問一や二でも一間程度出題する場合がある。

解答

一 問一 (a)深遠 (b)洞察 (c)操作 (d)踏破 (e)尊重

問二 ③ 問三 ② 問四 ③ 問五 ② 問六 ③

二 問一 (a)判断 (b)行進 (c)留意 (d)危険 (e)自然

問二 ① 問三 ④

問四 （解答例）ヒトは空気を読み、自分の行動にとり入れる。

問五 ② 問六 ③

三 問一 ② 問二 ④ 問三 ② 問四 ③ 問五 ③

四 問一 (a)衝撃 (b)土台 (c)紹介 (d)遺跡 (e)耕

問二 ② 問三 ④ 問四 ② 問五 ①

問六 （解答例）古代は木の特性を最大限に生かして丈夫な建物を作ることが重視し、現代は効率や利益を優先している。